

# あいの木園 あかい実 No.1

発刊者  
 社会福祉法人 高岡の里福祉会  
 法人事務局・あいの木園  
 住所：〒679-2217  
 兵庫県神崎郡福崎町高岡74-1  
 TEL 0790-22-6881  
 FAX 0790-22-6461

平成27年4月1日 発刊

## 「あかい実」復活！！

あいの木園の広報誌「あかい実」が復活しました。先代の施設長（現理事長）が定期的に発刊していましたが、発刊が途絶えて数年…。一時「新！あかい実」として復活を果たすも、利用者支援の合間を利用した発刊継続は難しく、平成22年度より、休刊状態となっていました。今回「あかい実」を復活させるにあたり『二度ある事は三度ある』といった、ことわざを吹き飛ばせるよう、頑張っていきたいと新設した広報部を中心に気合を入れています。あいの木園の楽しい日々を継続してお知らせしていけるよう、努力していきたいと思います。（広報部：名田・藤原）

あいの木園 広報誌「あかい実」が復活しましたが、なんと2月から園でインフルエンザが流行り、感染拡大防止に努めましたが、終息宣言を行おうとすると、新たな感染者がまた一人…。日中活動や行事は中止。広報誌「あかい実」を復活するのにネタがない（涙）という事で、初回は平成27年度の行事予定をお知らせします。（藤原）

### 4～6月

- ・花見
- ・ばんたん親善運動会
- ・希望外出他



### 10月～12月

- ・高岡小学校 サルビア保育園との交流会
- ・中播磨ゆうあい運動会
- ・クリスマス忘年会
- ・保護者との交流会
- ・希望外出他



### 7～9月

- ・利用者日帰り旅行
- ・高岡の里福祉会 ふれあい祭
- ・希望外出他



- ・お正月料理
- ・鍋パーティー
- ・希望外出他



### 1月～3月



## 平成26年度を振り返って

長らくご無沙汰となっていた「あかい実」復活！！という事で、今回は、あいの木園の生活をゆっくりと振り返ってみたいと思います。

あいの木園は平成元年8月のオープン。今年度で26歳を迎えました。その間、グループホーム・高齢者施設を含む他施設へ移られた利用者もおられますが、約半数の利用者は園開所当初から、あいの木園での生活を続けられておられます。学校を卒業してすぐ、18歳で入所された利用者も、今年度で44歳。利用者の平均年齢は51歳になりました。

利用者の高齢化に伴い、体力と健康維持がとても重要なニーズとなってきています。その為、10月から、思い切って午前中は作業を取り止め、全員がウォーキング・支援員によるリハビリ等で運動を行う日課へと変更しました。利用者の地域生活移行を視野に入れながら、職住の分離を目的に施設の外に作業所も設け、作業を頑張ってきた、あいの木園にとって、大きな転換となる日課変更です。日課以外でも、リハビリ器具や電動ベッドを増やしたり、ミキサー食や水分にとろみをつけたりと、随所に生活の変化が見られます。設備面もそれに併せ、充実が求められてきています。平成27年度は、大規模なトイレ改修を実施し、車椅子利用者も使いやすいトイレとなる予定です。

そのような中ですが、あいの木園内の明るい雰囲気は変わっていません。利用者の高齢化は確実に進みますが、今後も明るく毎日を過ごされる利用者の笑顔や笑い声を支え、元気で生活が続けられる様、スタッフ一同も、笑顔をお忘れず、頑張っていきたいと思っております。（名田）



## 栄養士からのお知らせ

はじめまして。栄養士の奥見です。この4月で私も2年目に突入します。新年度が始まるこの時期は、何かと環境の変化が多いですね。緊張や不安がストレスとなり、体調を崩しやすい時期でもあります。こんな時こそ、しっかりと栄養バランスのとれた食事を楽しんでもらいたいです。あいの木園でも、4月は新メニューが盛りだくさん！楽しみですねー！日々変化のある食事を提供することで、利用者にご飯を楽しくいただけたらなと思っています。安全！美味しい！楽しい！食事を目指して、2年目も張り切ってスタートしていきたいと思いますので、今後も変わらずご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



## 4月の予定

- 4日 生花教室
- 7日 夕食選択メニュー
- 12日 有料散髪・カラオケクラブ
- 13日 ケーキサービス
- 19日 太鼓クラブ
- 26日 面会日

\*実施日は未定ですが、桜の開花状況を見ながら、花見を予定。

その他  
 外部講師による音楽レクリエーション  
 外部講師による太鼓教室  
 外部講師によるジャズ体操等



## 編集後記

広報誌「あかい実」を復活させて一言。レイアウト・原稿作成 etc.。慣れないだけに意外と時間がかかりました。しかし、この程度のクオリティー（涙）。1年後には、もっと中身を充実させ、利用者の方の楽しい日々をお伝えできればと思っています。（藤原）